

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	整備応用（Applications of Aircraft Maintenance）		
ナンバリングコード	N31605	大分類 / 難易度 科目分野	航空宇宙工学科 専門科目 / 応用レベル 航空機整備
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	N160551	クラス名	-
担当教員名	大森 正勝、山岸 利幸		
履修上の注意、 履修条件	整備応用は整備実践で得た知識を応用して、3つの授業についてより深く学習します。このため原則として、整備実践、整備概論、整備基礎を受講していることが履修条件です。 当授業は県央空港での集中講義となっています。		
教科書	航空機の基本技術 （日本航空技術協会 編集）		
参考文献及び指定図書	航空機製造メーカー発行のAIRCRAFT MAINTENANCE MANUAL等		
関連科目	整備概論、整備基礎、整備実践、航空機構造装備		

○基本情報		
授業の目的	航空機整備に関して基礎的理論及び知識を体系的に理解したうえで、航空機整備を実地に体験する中で、航空機整備に対する心構えや航空整備士としてあるべき姿を考え、社会人として必要な資質を身につけることを目的とします。	
授業の概要	授業は大きく分けて下記の3つの柱から成り立っており、各班毎にローテーションを組み、全員が全ての授業を受講できるようにします。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業(ケーブル張力作業)	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	大森 正勝 本授業の整備応用に関連する実務経験として、航空会社で整備士業務に従事。 山岸 利幸 本授業の整備応用に関連する実務経験として、航空会社で整備士・検査員業務に従事。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	航空機整備に関心を持ち、授業や課題に果敢に取り組み、柔軟な思考で課題解決法を見出すことができる。			20点
【知識・理解】	航空機整備におけるエンジン試運転の知識を体系的に理解している。	30点		
【技能・表現・コミュニケーション】	グループの意見・立場を良く聞き分け理解しながら、課題等の解決にむけ技術的に思考、判断できる。また判断した結果を論理的に表現し相手に明確に伝えることができる。			20点
【思考・判断・創造】	航空機整備の基礎理論及び知識に基づく技術的思考・判断ができ、新しい技術の創造に貢献することができる。	20点		10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
①口頭試問による実地試験を通して、要点を理解しているかどうかを確認します。また実習を通して心構え、態度、社会人としての資質について評価します。 ②授業での取り組み姿勢および態度を客観的に評価します。特に欠席・遅刻・早退した場合は減点となります。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	整備応用（Applications of Aircraft Maintenance） 大森 正勝、山岸 利幸	授業コード	N160551
学修内容				
17. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間
18. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間
19. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間
20. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間
21. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間
22. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間
23. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間
24. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	整備応用（Applications of Aircraft Maintenance） 大森 正勝、山岸 利幸	授業コード	N160551
学修内容				
25. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間
26. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間
27. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間
28. 班別教育 スケジュールに基づいて班別に3つの授業をローテーションで実施します。 1. バロン95-B55型航空機のエンジン試運転 2. パイパーPA28-140型航空機のエンジン試運転 3. 整備に必要な基本作業（ケーブル張力作業）				
予習		次回実施予定の実習内容について予習する。		約2時間
復習		今回実施した実習内容について復習する。		約2時間
29. 口頭試問 これまで学習した内容について各自の理解度を確認するため口頭試問を実施します。				
予習				約2時間
復習				約2時間
30. 口頭試問 これまで学習した内容について各自の理解度を確認するため口頭試問を実施します。				
予習				約2時間
復習				約2時間
31.				
予習				約2時間
復習				約2時間
32.				
予習				約2時間
復習				約2時間